

金融マンは対話で世界を変える



熱金

熱い金融マン協会

第13回

ZOOMオンライン

# 対話研究会

2022年3月16日（水）19:30～21:30

課題図書 「対話のことば」

オープンダイアログに学ぶ問題解消のための対話の心得

著者 井庭 崇 長井 雅史

【参加申込】 <https://taiwaken13.peatix.com>



**熱金**  
熱い金融マン協会

事務局：金融経営研究所  
madoguchi@kinken.biz

参加費 無料

- ①本研究会はボランティアで運営しています。
- ②運営へのご協力をお願いします。

対話のことば

オープンダイアログに学ぶ  
問題解消のための対話の心得

井庭 崇 長井 雅史 著

丸善出版

# 勉強会の目的と運営

- ①目的：対話の理論とノウハウを吸収する。  
(金融機関内部、金融機関と顧客、金融機関と当局との対話のあり方?)
- ②**読書会**：課題図書の要旨説明（持ち回り）と対話。
- ③日程：**毎月第3水曜日**の19：30～（ZOOMオンライン）
- ④参加条件：**課題図書に事前に目を通してくる**。運営に協力。
- ⑤運営方法：参加無料。**全員ボランティア**。FBで毎回記録を作る。
- ⑥要旨説明者：毎回最後に、次回課題本の要旨説明者等を決めます

## 事務連絡

- ①お名前は、ご本人と分るもので。
- ②発言する時以外はミュートで。
- ③質問・感想は積極的にチャットに。
- ④記録への協力をお願い
  - ・研究会終了時にご自身の感想等をFB記録ページに。
- ⑤録画します（全体のみ。個別対話は録画しません）。
- ⑥本日の資料は、熱い金融マン協会HPに掲載します

# 本日のアジェンダ

- ①本研究会についての説明
- ②「対話のことば」要旨
- ③問いと対話
- ④次回課題図書等事務連絡

# オープンダイアログとは

- ①グループ対話の一種
- ②対象者（および関係者）の話を支援者が聞く
- ③支援者の対話を対象者等が聞く（リフレクティング）
- ④継続的に行われる
- ⑤元々はフィンランド発の精神療法（統合失調症に効果）

# 第9回

ZOOMオンライン

# 対話研究会

2021年11月17日（水）19:30～21:30

課題図書

「やってみたくなるオープンダイアログ」

解説 斎藤環 まんが 水谷緑

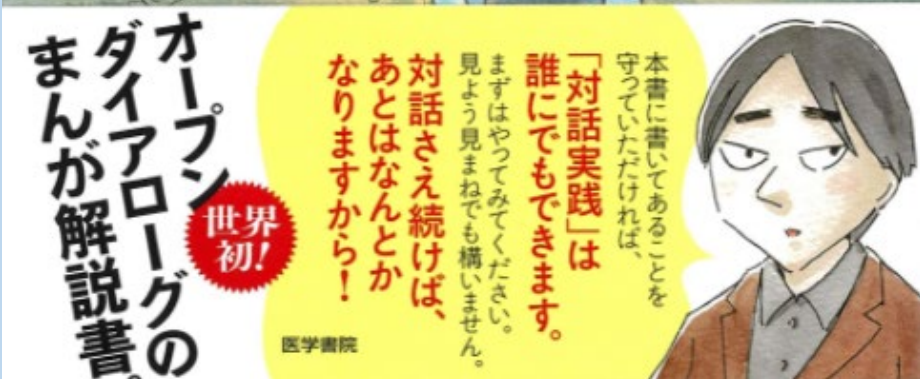
【参加申込】 <https://taiwaken09.peatix.com>

事務局：金融経営研究所  
madoguchi@kinken.biz



参加費 無料

- ①本研究会はボランティアで運営しています。
- ②運営へのご協力をお願いします。



# パターンランゲージとは

- ・ 成功事例や熟練者にみられる共通パターン（経験則、実践知、コツ等）を言語化したもの
- ・ 質の高い結果を繰り返し生み出していく実践の言語

①名前（パターン名）

②ある「状況」で

③生じる「問題」

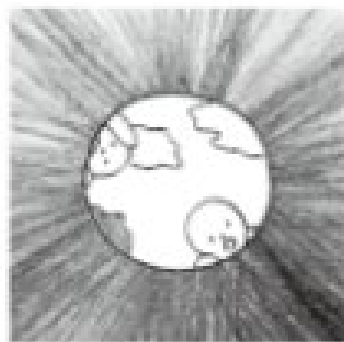
④解決方法

⑤結果

**【中空の言葉】**  
理念（抽象） と  
マニュアル（具体）  
の真ん中



## 1 体験している世界



-----2

[ともしにいる姿勢]  
[語りを受けとめる]  
[深く感じる]

## 2 多様な声



-----4

[対話の場づくり]  
[みんなで声を出し合う]  
[気持ちを分かち合う]

## 3 新たな理解



-----6

[安心と信頼の基盤]  
[創造的な不確定性]  
[未来につながる物語]

人によって、  
それぞれ違う

1 「体験している世界」  
を内側から感じる。

4 ひとりの人として



-----12

5 じっくり聴く



-----14

6 そのままの言葉



-----16

[ともにいる姿勢]

7 聞かれた質問



-----18

8 言葉にする時間



-----20

9 語りへの応答



-----22

[語りを受けとめる]

10 内側から捉える



-----24

11 感情の通路



-----26

12 これまでへの敬意



-----28

[深く感じる]

## 2 「多様な声」 が生じる場にする。

[対話の場づくり]

13 関係する人



----- 34

14 対話の支援チーム



----- 36

15 輪になる



----- 38

[みんなで声を出し合う]

16 全員の発言



----- 40

17 ゆったりとしたベース



----- 42

18 応答の連鎖



----- 44

[気持ちを分かち合う]

19 小さなサイン



----- 46

20 気持ちの共鳴



----- 48

21 リフレクティング・トーク



----- 50

3 「新たな理解」  
を一緒に生み出す。

[安心と信頼の基盤]

22 発生時の立ち上げ



..... 56

23 連続的な実施



..... 58

24 一貫した関わり



..... 60

[創造的な不確定性]

25 それぞれの認識



..... 62

26 混沌とした状態



..... 64

27 意味の変容



..... 66

[未来につながる物語]

28 一緒に見出す



..... 68

29 ひろがりのある文脈



..... 70

30 未来への仲間



..... 72

**わかりにくかった言葉（パターン）がありますか？**

**印象に残った言葉（パターン）はどれですか？**

**難しいと思う言葉（パターン）はどれですか？**

**自分の対話の実践を可視化してみる**



# 対話の実践の可視化①

カテゴリー	グループ	対話の言葉	チェック	スコア
1. 体験している世界	ともにいる姿勢	4. ひとりの人として		
		5. じっくり聴く		
		6. そのままの言葉		
	語りを受け止める	7. 開かれた質問		
		8. 言葉にする時間		
		9. 語りへの応答		
	深く感じる	10. 内側から捉える		
		11. 感情の通路		
		12. これまでへの敬意		

# 対話の実践の可視化②

カテゴリー	グループ	対話の言葉	チェック	スコア
2. 多様な声	対話の場づくり	13. 関係する人		
		14. 対話の支援チーム		
		15. 輪になる		
	みんなで声を出し合う	16. 全員の発言		
		17. ゆったりとしたペース		
		18. 応答の連鎖		
	気持ちを分かち合う	19. 小さなサイン		
		20. 気持ちの共鳴		
		21. リフレティング・トーク		

# 対話の実践の可視化③

カテゴリー	グループ	対話の言葉	チェック	スコア
3. 新たな理解	安心と信頼の基盤	2 2. 発生時の立ち上げ		
		2 3. 連続的な実施		
		2 4. 一貫した関わり		
	創造的な不確定性	2 5. それぞれの認識		
		2 6. 混沌とした状態		
		2 7. 意味の変容		
	未来につながる物語	2 8. 一緒に見出す		
		2 9. 広がりのある文脈		
		3 0. 未来への仲間		

**今後、どんな対話をしていこうと思いますか？**

On Dialogue

# ダイアログ

対立から共生へ、  
議論から対話へ

デヴィッド・ボーム  
David Bohm  
金井真弓  
Mayumi Kanai

「コミュニケーション論」の名著、遂に邦訳！  
人はなぜ、対立してしまうのか？

不毛な争いを避け、  
皆が望む未来をつくる

「対話(ダイアログ)」という方法。

MITスローンスクール上級講師  
ピーター・センゲ  
「最強組織の法則」「出現する未来」  
推薦！

## 第14回

ZOOMオンライン

# 対話研究会

2022年4月20日(水) 19:30~21:30

課題図書 「ダイアログ」

デヴィッド・ボーム 著 金井真弓 訳

【参加申込】 <https://taiwaken14.peatix.com>



熱金  
熱い金融マン協会

事務局：金融経営研究所  
madoguchi@kinken.biz

参加費 無料

- ①本研究会はボランティアで運営しています。
- ②運営へのご協力をお願いします。

熱い金融マンワークショップ（第7回）

# 「副業する金融マン」

2022年 4月8日（金）

19：30～21：30



宮入則之氏  
（あおぞら銀行）



林大祐氏（南都銀行）  
なりし価値起点イノベーターズ



馬場貴裕氏（東邦銀行）  
SDGsワークショップファシリテーター



ZOOMによる  
オンライン対話

【参加申込】 Peatixから⇒ <https://atsukinws7.peatix.com>

# JPBVリーダーシッププログラム体験会

ZOOMオンライン

2022年 **4**月**23**日（土） 10:00～12:00

変革の実践者との対話  
自己変革と共創のスキル  
価値を大切にする金融

JPBV  
THE JAPANESE PRACTITIONERS  
FOR BANKING ON VALUES

後援：金融庁

【参加申込】 下記Peatixから  
<https://jpbvlp220423.peatix.com>